事業番号	158

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要

事務事業名		児童館管理運営委託事業						担当部	こども未来部		
会計区分		一般会計		事業類型	実施計画事業以外			担当課	こども政策課		
事業期間		平成21年度 ～ 平成31年度以降						担当係	子育て支援係		
総合計画分野別計画	主目的	3 教育・子育て 13 子育て支援 2 地域の子育て・子育ちを支援します									
	副目的							実施計画対象			
予算区分		款	3	項	3	目	5	大	3	中	1
根拠法令・個別計画		児童福祉法、小牧市子ども・子育て支援事業計画									
目的（対象をどの様な状態にするのか）		児童館に指定管理者制度を導入することにより、市民の利便性を図るとともにコスト削減を図る。									
内容（手段）		◆26年度実施内容 現在、8児童館のうち7児童館に指定管理者制度を導入している。 平成21年4月（平成25年4月更新）に大城、小牧南の2館、平成22年4月（平成26年4月更新）に西部、小牧の2館、平成23年4月に篠岡の1館、平成24年4月に北里、味岡の2館と、順次指定管理者制度を導入し、開館時間の延長を始めとする市の直営にはないサービス展開を行い、利用者の利便性の向上を図った。また、小牧、北里児童館については、休館日を年末年始のみに変更し、より利用しやすい環境作りを行った。 ◆26年度直接経費の内訳 児童館管理運営委託料 187,492千円 【その他財源の内訳】 保育緊急確保事業費補助金（国補助率1/3、県補助率1/3）7,586千円 音楽室利用料 220千円 ◆27年度直接経費の内訳 児童館管理運営委託料 200,700千円 【その他財源の内訳】 保育緊急確保事業費補助金（国補助率1/3、県補助率1/3）7,586千円 音楽室利用料 400千円									
受益者負担		有	音楽室利用料金 2時間以内 児童500円 大人1,000円								

コスト

			単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
費用	直接経費		千円	166,863	168,364	187,492	200,700
	正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
		人件費	千円	1,578	1,578	1,578	1,578
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	168,441	169,942	189,070	202,278
	対前年比		%		100.8	111.2	106.9
財源	一般財源		千円	165,043	164,496	181,264	194,292
	国・県支出金		千円	3,024	5,208	7,586	7,586
	その他財源		千円	374	238	220	400

事業番号	158

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
指定管理者導入児童館数(累計)	館	目標	―	―	―	―
		実績	7	7	7	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
指定管理者導入児童館利用者数	人	目標	―	―	―	445,000
		実績	397,325	445,002	444,708	

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	目標の7児童館全てに指定管理者制度を導入できたため、各館の来館者の利便性が向上した。
	事業実施における課題	指定管理者の運営により、サービスの低下にならないようにする。
	事業を縮小・廃止したときの影響	児童館の運営を市の直営に戻すことにより、コストの増大及び利便性の低下を招くことになる。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	民間事業者のノウハウにより、子どもたちと保護者がより満足のいく内容の追求によるサービスの向上を図る。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持 ／ 事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	大城、篠岡児童館以外の指定管理者運営による児童館の休館日を年末年始のみにし、より利用しやすい環境作りを行ったことでサービスの向上を図ることができたため。
	28年度以降の改善案	子どもたち、育児不安の解消も含めた乳幼児親子の居場所の提供として、さらに魅力のある児童館活動を創出する。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。 引き続き指定管理者のモニタリングに努め、利用者アンケート結果を活かすなど利用者の満足度が高まる施設運営に努めること。